

WO

施工業者様用

〈施工説明書〉

WOODONE

株式会社 **ウッドワン**

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

 0120-813-331

[受付時間] 平日8:30~17:00

[休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

WO木柱システムシェルフ

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴槽に使用すると、湿気、雨漏り、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。

・製品に乗ったりぶら下がったりしない。

製品が外れたり破損したりして、ケガの原因となりますので、絶対にしないでください。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

安全に関わる重要項目 製品の脱落、歪みが発生する恐れがあります。

・下地の処理

棚柱は間柱や12mm以上の合板で下地処理を施された壁面に確実に固定してください。合板の場合はJAS規格品広葉樹合板(ラワン合板)以上の強度を有するもので厚み12mm以上を使用してください。下地の強度が不足する場合は脱落や歪みの原因となります。

【禁止している壁面の例】

プラスターボードのみの壁面、厚み12mm未満の合板、ファルカタ合板など比重が低い合板

・耐荷重は必ず守る

・耐荷重を超えて物を載せると、製品が破損したり脱落して怪我の原因となります。また、物が落下する恐れがありますので、不安なもの、危険な物、高価なものなど置かないでください。

・荷重はできるだけ分散し、集中荷重・衝撃荷重はさけてください。また、重量物は板を敷くなど一か所に集中させないようにしてください。

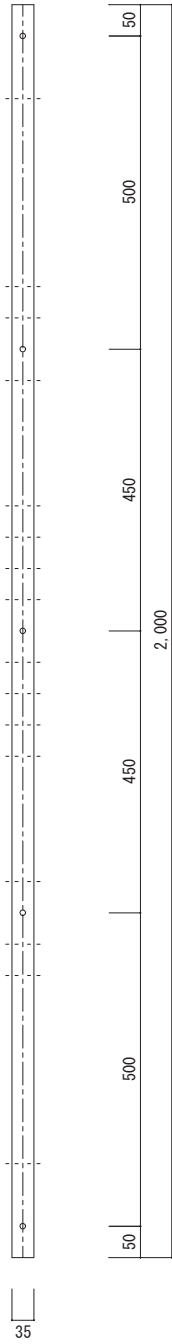
耐荷重：15kg/棚板1枚

取付設置をする前に

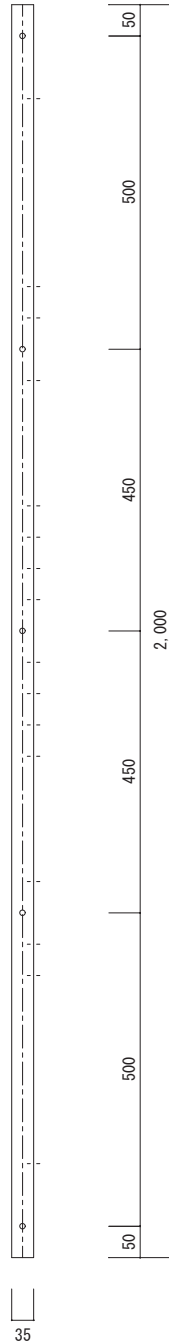
■ 部材の確認

木製棚柱

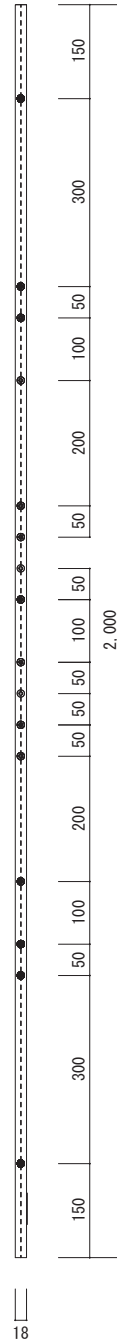
正面図
センター用
金具取付穴 32ヶ所
壁固定用ビス下穴 5ヶ所



正面図
側用 左右兼用
金具取付穴 16ヶ所
壁固定用ビス下穴 5ヶ所



側面図



壁面固定ビスφ8×120mm

5本



ビスキャップ 艶消し黒

5個

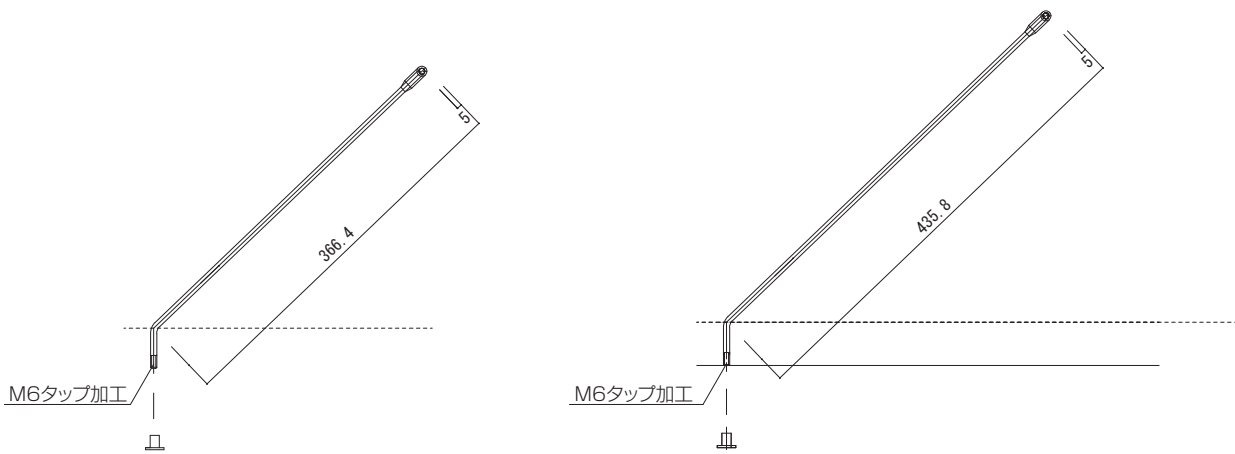
棚板







線材金具

300D用

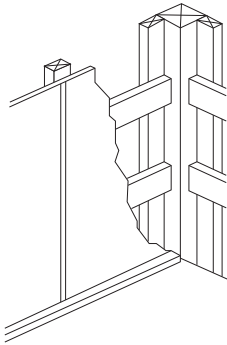
350D用



	ジョイントコネクターナット	2個
	L型金具	2個
	特殊ナット(緩み止めナット)	2個
	吊り金具L金具固定兼用ビス	6個

施工手順

■ 事前準備



必ず行う

棚柱は間柱や12mm以上の合板で下地処理を施された壁面に確実に固定してください。合板の場合はJAS規格品広葉樹合板(ラワン合板)以上の強度を有するもので厚み12mm以上を使用してください。下地の強度が不足する場合は脱落や歪みの原因となります。

【禁止している壁面の例】

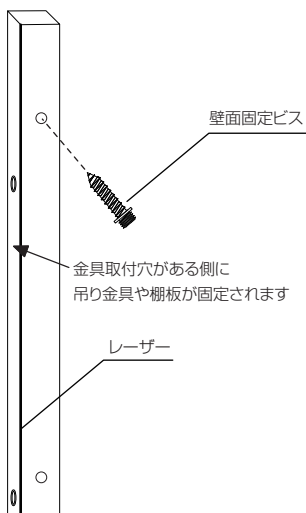
プラスターボードのみの壁面、厚み12mm未満の合板、ファルカタ合板など比重が低い合板

⚠ 注意

- ・壁面への固定は付属のビスを使用してください。
- ・ビスの破損等を防ぐ為に予め、ビス径に応じて適切な下穴を開けてからビスを固定してください。
- ・壁下地厚や位置を確認してビスを打ってください。
- ・レーザー等を使用し、部材の水平と垂直を確認してください。
- ・全てのビス孔にビスを固定してください。

■ 棚柱の固定

下穴の位置に壁固定用ビスを用いて棚柱を壁に取り付けてください。

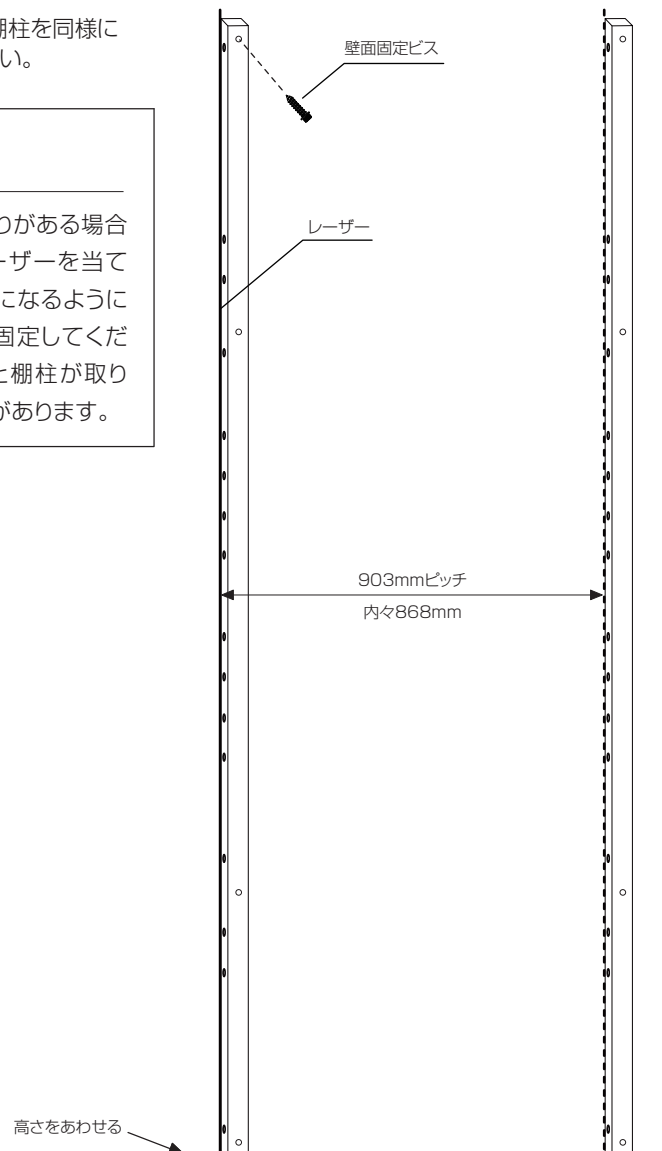


■ 棚柱の取り付け

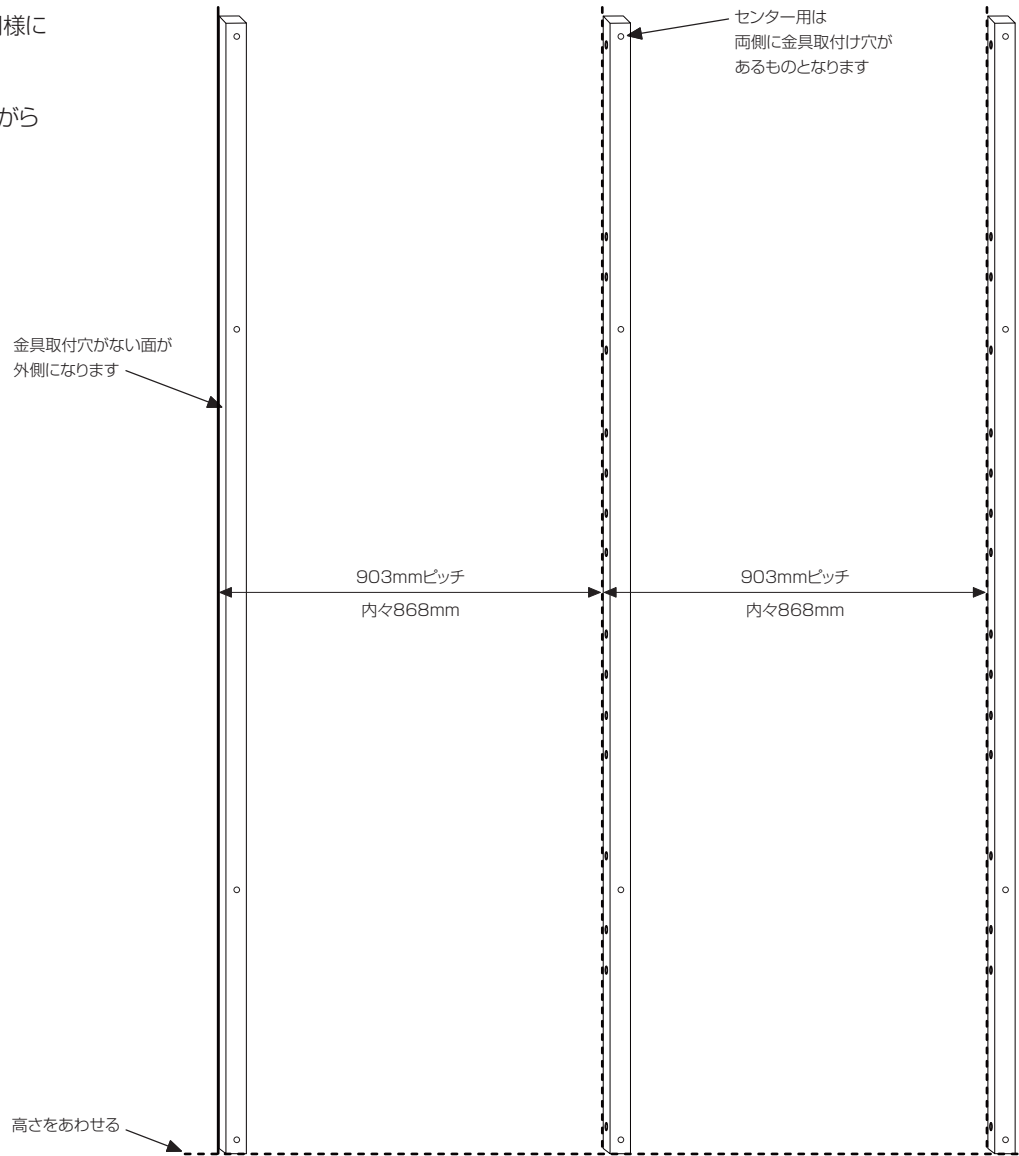
903mmピッチで次の棚柱を同様に垂直に取り付けてください。

⚠ 注意

棚柱は木製のため反りがある場合があります。必ずレーザーを当てて全長にわたり垂直になるように矯正しながらビスで固定してください。曲がっていると棚柱が取り付けられないおそれがあります。

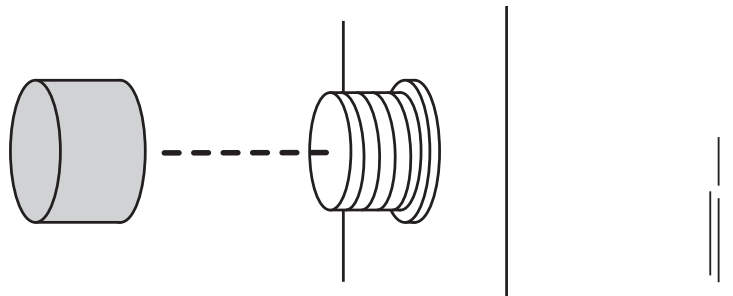


終わりに左右用棚柱を同様に
取り付けてください。
反りがある場合には
棚柱のピッチを確認しながら
止めてください。



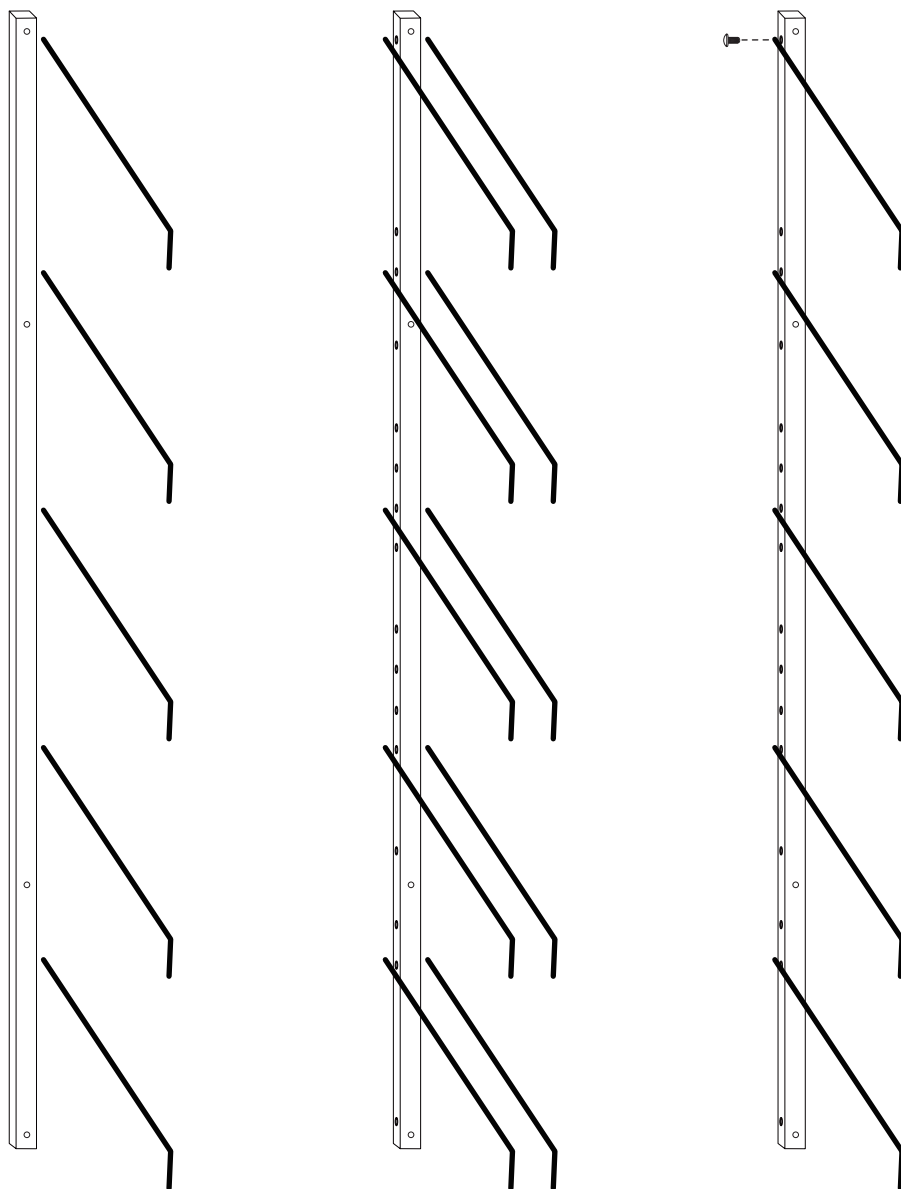
■化粧キャップ取り付け

壁固定ビスに化粧キャップを取り付けてください。



■ 吊り金具の取り付け

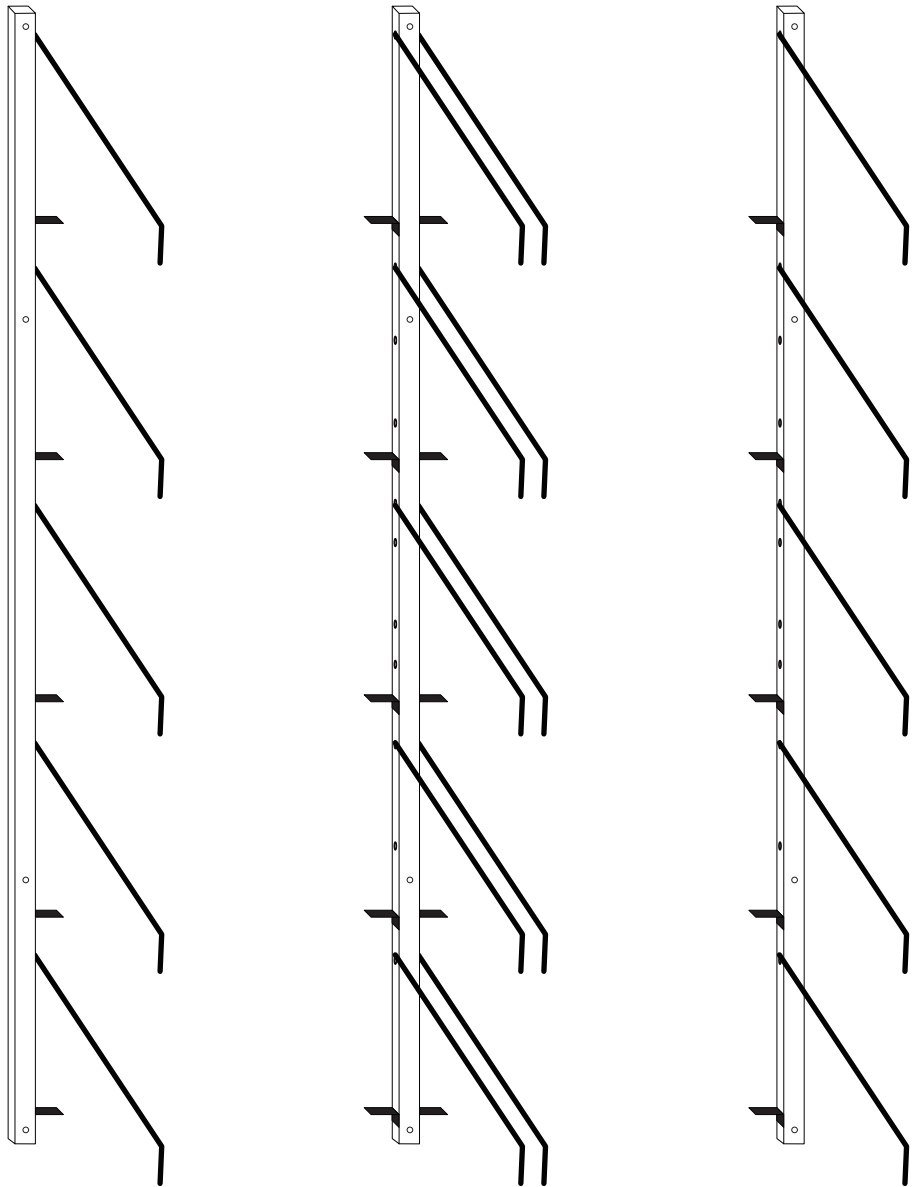
吊り金具を所定の金具取付穴の位置に吊り金具L金具固定兼用ビスで仮固定してください。



■ L金具の取り付け

L金具を所定の棚柱側面金具取付穴の位置に吊り金具L金具固定兼用ビスで仮固定してください。

※最後に増し締めするため、最後まで締め切らないでください。

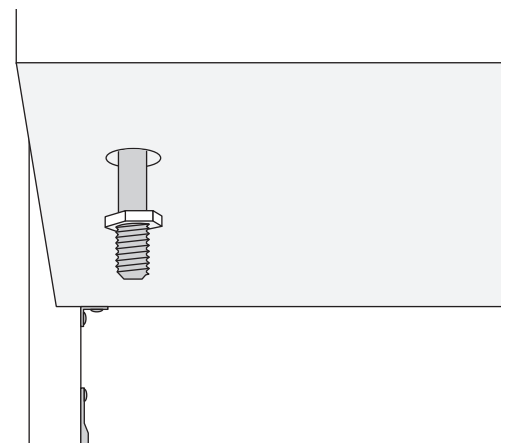
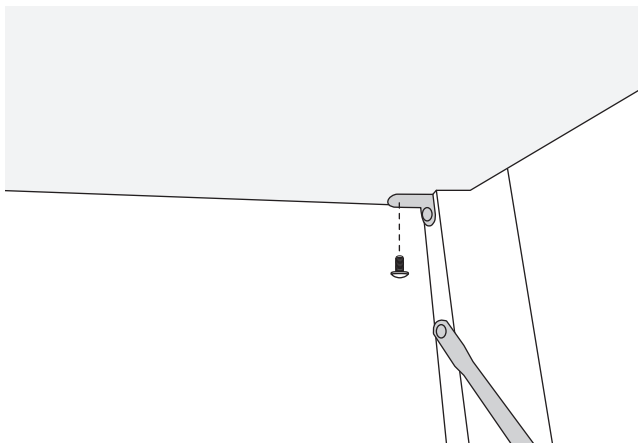


■ 棚板の取り付け

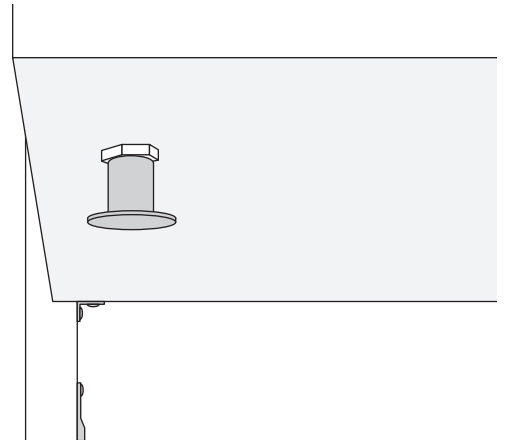
L金具に棚板を載せて、下側から金具取付穴に吊り金具L金具固定兼用ビスで仮固定してください。

※最後に増し締めするため、最後まで締め切らないでください。

吊り金具を棚板の穴に通し下側から特殊ナットで仮固定してください。

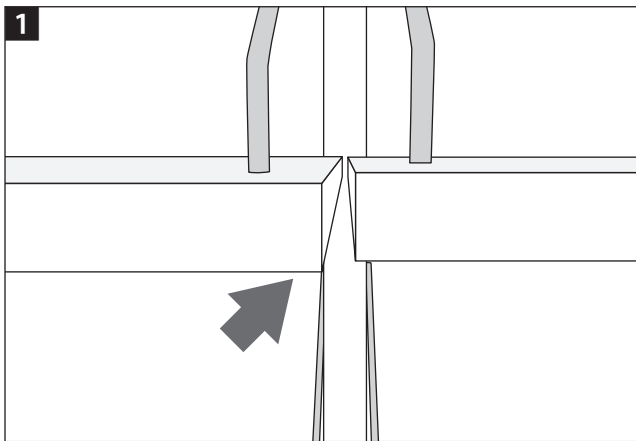


特殊ナットの上からJCNナットを締めて固定してください。

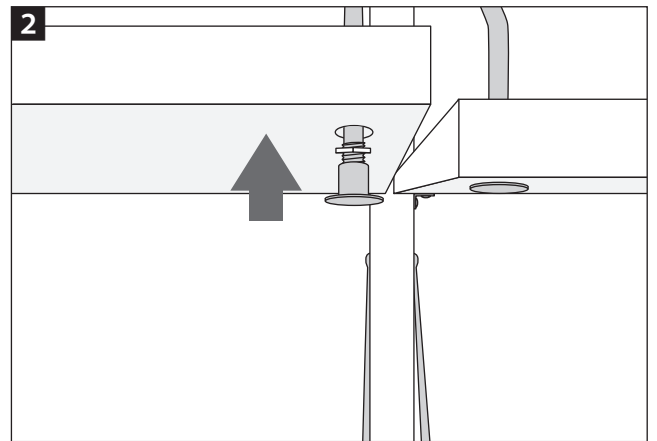


■ 棚板の高さ調整

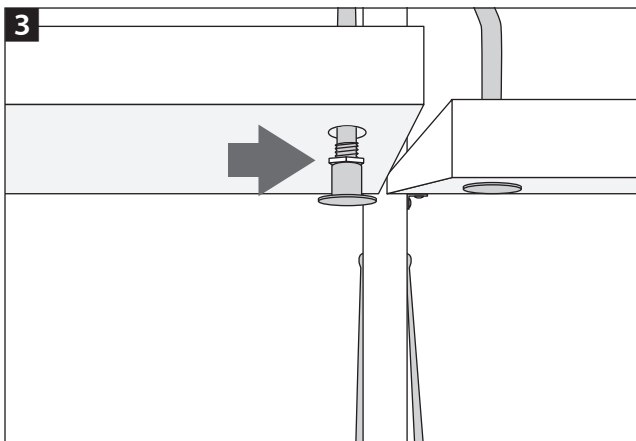
隣り合う棚板の高さが揃わない場合は棚板を持ち上げてジョイントコネクターナットの位置を変えて特殊ナットを締めて固定して高さを合わせてください。



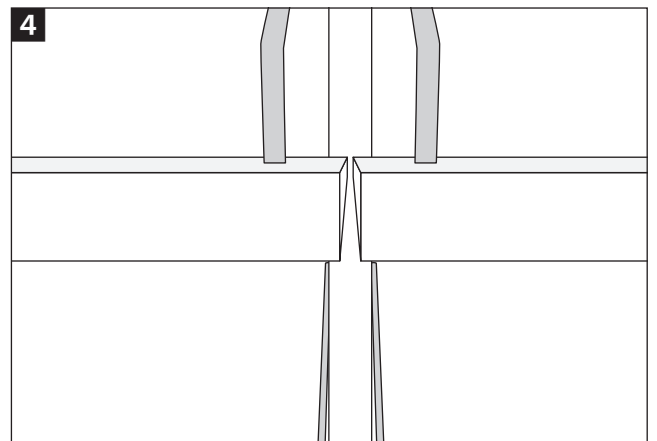
1 左側の棚を上げる場合



2 棚板を上げ、ジョイントコネクターナットを上げる



3 ジョイントコネクターナットを締める



4 棚板の高さが揃っていることを確認する

■ 本固定

最後に取り付けが正常か確認しながらすべてのビスを締めて固定してください。